

表6-6. 虚血性心疾患で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
E400ラジオアイソトープ料	0.0022	0.0209	1326.0
D215UGG 断層撮影法及びMモード法による	0.0022	0.0182	1178.4
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0569	984.7
E101シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影(SPECT)	0.0003	0.0070	948.8
D208心電図検査 最低12誘導	0.0028	0.0161	938.7
D211トレッドミル負荷心機能検査, 他	0.0003	0.0054	816.3
E101SPECT負荷試験	0.0001	0.0031	660.1
D206左心カテーテル	0.0001	0.0023	585.4
D209負荷心電図検査 最低12誘導	0.0002	0.0028	553.5
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0077	0.0185	527.1
D215UGG加算 パルスドップラー法	0.0004	0.0031	476.2
B000老人慢性疾患外来総合診療料 口	0.0044	0.0105	396.7
D206心臓カテーテル法 右心カテーテル	0.0000	0.0008	356.2
C001寝たきり老人訪問診療料( I )	0.0017	0.0051	346.6
D206加算 冠動脈造影, 他	0.0000	0.0008	346.3
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0014	0.0039	283.3
G005-2中心静脈注射用カテーテル挿入	0.0000	0.0005	262.4
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0007	0.0022	243.5
E001頭部, 胸部, 腹部, 脊椎 1枚 単独	0.0022	0.0047	234.0
E102核医学診断	0.0001	0.0009	224.6
A002老人外来管理 病院	0.0011	0.0027	203.8
J047カウンターショック	0.0000	0.0005	199.2
F400処方せん料 1	0.0003	0.0012	198.8
C103酸素濃縮装置	0.0055	0.0088	198.6
H000心疾患リハビリテーション料	0.0000	0.0002	191.7
G200中心静脈用カテーテル	0.0000	0.0002	164.9
C103在宅酸素療法指導管理料 2	0.0026	0.0043	151.6
D006ヘパリン抵抗試験, 活性化部分トロンボプラスチン時間, 他	0.0002	0.0006	134.9
B001心臓ペースメーカー指導管理料 口	0.0001	0.0004	124.9
D008ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)精密	0.0000	0.0002	117.9
J044救命のための気管内挿管	0.0000	0.0001	112.3
C003寝たきり老人訪問指導管理料	0.0004	0.0008	109.2
D214脈波図, 心機図, ポリグラフ検査2誘導	0.0000	0.0001	106.0

表6-7. 胃潰瘍で多く実施される診療行為一覧

診療行為	全疾患における 点数割合(%)	当該疾患における 点数割合(%)	統計値Z0
D308胃・十二指腸ファイバースコープ	0.0064	0.0973	3324.7
D101病理組織顕微鏡検査	0.0033	0.0305	1590.5
D414内視鏡下生検法	0.0008	0.0110	1088.8
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0019	0.0065	431.6
D013HCV抗体価精密, HCV抗体価	0.0008	0.0033	367.1
D215断層撮影法 胸腹部	0.0098	0.0169	318.6
K697-4生体部分肝移植	0.0000	0.0006	316.7
B000特定疾患療養指導料 病院	0.0010	0.0035	313.1
E000透視診断	0.0002	0.0013	277.7
D324粘膜点墨法	0.0000	0.0006	255.8
D105病理学的検査判断料	0.0008	0.0026	253.2
D313上行結腸及び盲腸	0.0015	0.0037	251.4
B000老人慢性疾患外来総合診療料 イ	0.0227	0.0287	183.2
A001再診料 病院 電話等	0.0016	0.0032	180.2
D013HBs抗原	0.0002	0.0007	166.0
D012TPHA試験(定性), マイコプラズマ抗体価, ASP	0.0002	0.0006	148.2
K654内視鏡的消化管止血術	0.0000	0.0003	144.2
D026免疫学的検査	0.0040	0.0059	140.3
D101免疫抗体法	0.0000	0.0002	138.3
B000老人慢性疾患生活指導料 病院	0.0014	0.0024	127.8

#### (4) 入院医療機関までの距離が外来診療感受性疾病の入院率の地域格差に及ぼす影響に関する検討

通院距離を含めた分析では、大病院ほど遠距離からの通院者が多く、受療間隔が大きく、1日あたりの平均外来医療費が高い傾向にあるなど医療機関と患者住所との距離、受療間隔等が外来診療の提供状況に影響を与えている可能性が示唆された。外来診療の評価マーカーとされている喘息、糖尿病、高血圧疾患等 Ambulatory Care Sensitive Conditions (ACSC)の入院率の地域差の多変量解析では、入院先病院への距離が1km大きくなると入院率を14%上昇させていることが示され、受診距離、入院外来診療の連携等が外来診療の質と効率性の地域差の背景にあることが示唆された。

#### (5) 診療行為の視点からの外来機能の分析に関する検討

診療行為の視点から医療機関の機能分類を評価して可視化するために、主要疾病別、医療機関機能分類別、診療区分別点数の分析チャート・ポートフォリオを作成した。また、さらに詳細な分析のために、主要疾病別、医療機関機能分類別、主要診療行為別の分析チャート・ポートフォリオを作成した。これらの結果は、医療機関の機能によって特徴的な診療内容があることをしめし、大規模医療機関では検査、画像診断、手術、処置が多く、診療所、中小医療機関では指導、投薬、注射が主となっていることを示していた。特定の高額薬剤、点数の高い外科手術等の個別診療行為が大規模医療機関、特定機能病院等で多く、これらが高度外来診療のマーカーとなる可能性が示唆された。

### 5-1. 医療機関機能分類別診療区分別点数

#### ○チャート様式

形式:	横棒積み上げグラフ
グループ:	医療機関機能分類
系列:	診療報酬診療大区分
ページ:	傷病大分類 x (1日当たり点数、1件当たり点数)

#### ○視点

医療機関の機能分類の違いによって外来診療の内容がどのように異なっているかを、診療区分別の医療資源の消費状況から分析するためのチャート。特に、傷病大分類別に、1日当たりまたは1件当たりの診療報酬点数の絶対値が比較出来るので、診療区分別診療密度の違いを詳細に比較することができる。

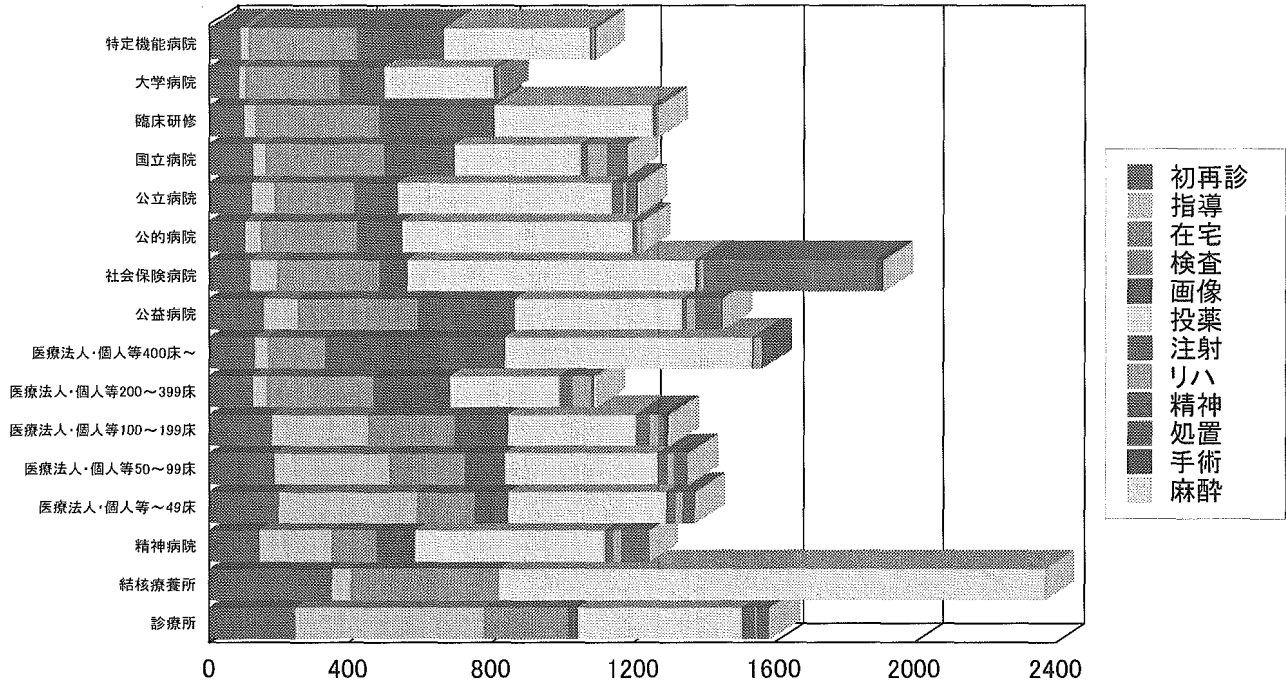
#### ○分析結果の要点

- ・感染症疾患では結核療養所の投薬が1日当たり約 800 点、1件当たり約 3000 点と高い。
- ・新生物では社会保険病院、公益病院、400 床以上の民間病院での1日当たり点数、1件当たり点数が高く、特に画像診断の実施量が多い。
- ・血液疾患では特定機能病院の在宅医療費が非常に高い。
- ・内分泌代謝疾患では大病院の1日当たり点数が全般に高い傾向にあり、特に在宅と投薬が高いが、1件当たり点数で見るとその違いは縮小している。外来受療日数の違いがその原因であろう。
- ・精神疾患では全般的に1日当たり点数は約 600 点、1件当たり点数は約 1000 点と低く、医療機関機能による違いは小さい。
- ・神経系疾患では、民間大病院での1日当たり点数が高く、特に注射が多いが、1件当たり点数では違いが小さい。
- ・眼疾患では国立病院の1日当たり点数、1件当たり点数が高く、特に外来手術が多い。
- ・耳疾患では特定機能病院と社会保険病院の1日当たり点数が高く、前者では在宅と検査が、後者では投薬がその要因である。1件当たり点数で見ると、民間病院、診療所の点数も高くなっている。これは、外来受療日数の違いであろう。
- ・循環器系疾患では大病院での1日当たり点数が高く、特に投薬に違いが大きい。1件当たり点数で見ると、差が小さくなり、大病院で検査、画像診断が多く、民間中小病院で指導が多い。
- ・呼吸器疾患では大病院でやや1日当たり点数が高い傾向にあり、在宅と検査の違いが大きい。1件当たり点数では医療機関分類間の差異が小さくなるが、在宅と検査の違いはある。
- ・消化器系疾患では大病院の1日当たり点数が高く、検査点数の違いが大きい。1件当たり点数の医療機関分類間差は小さくなるが、診療区分の構成は異なり、大病院では検査、画像診断が、それ以外では指導が多い。
- ・皮膚科疾患では民間大病院で1日当たり点数が高く、投薬の違いが大きい。1件当たり点数では差が小さくなっている。
- ・筋骨格系では大病院での点数が高く、検査、画像診断、投薬の違いが大きい。
- ・泌尿器系では医療機関分類間の差異はあまり無いが、民間病院では処置が高い傾向にある。
- ・産科では1日当たり点数は 600 点前後、1件当たり点数は約 800 点前後と低く、国立病院では1日当たり点数がやや高く、1件当たり点数は 4000 点以上と非常に高く、そのうち検査と注射の点数が高い
- ・周産期では公益病院の1日当たり点数、1件当たり点数が高く検査の点数が大きい。
- ・先天奇形では教育病院での1日当たり点数が高く在宅の医療費が多い。
- ・その他では大病院で1日当たり点数、1件当たり点数がやや高く検査、画像診断が大きくなっている。
- ・外傷では大病院の1日当たり点数、1件当たり点数が高く、画像診断の違いが大きい。

# 医療機関分類別診療区分別点数

ix 循環器系の疾患

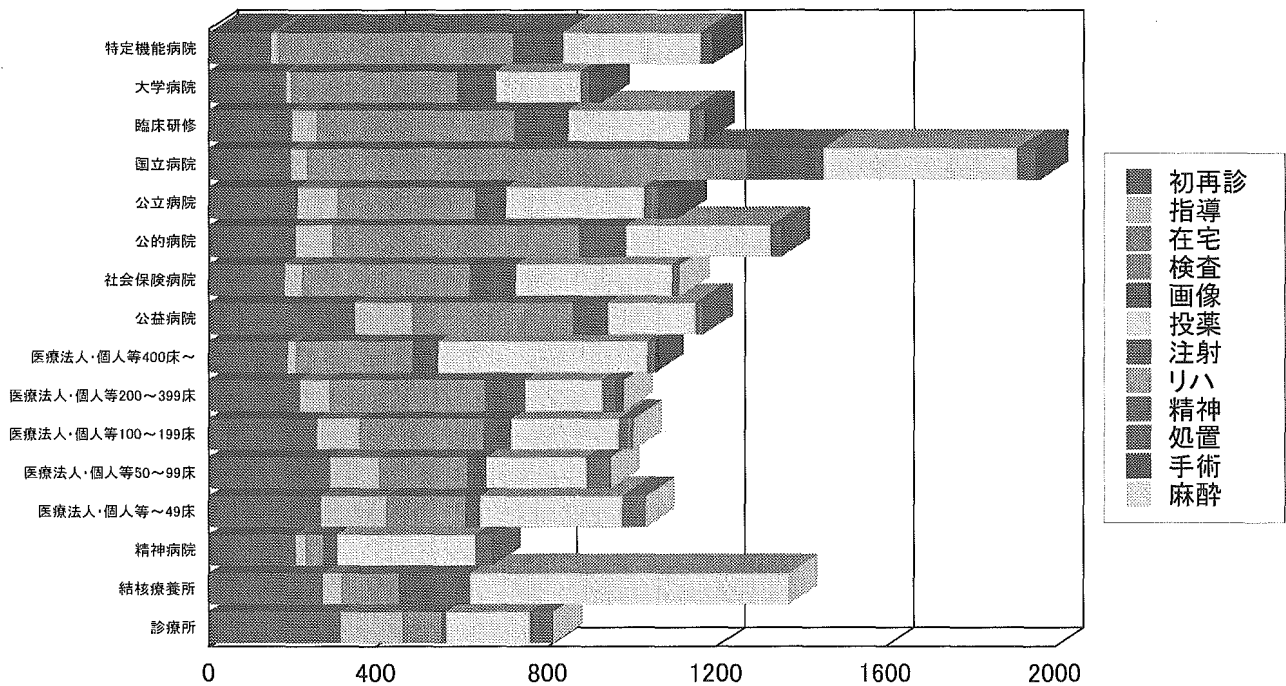
W点/W件



# 医療機関分類別診療区分別点数

X 呼吸器系の疾患

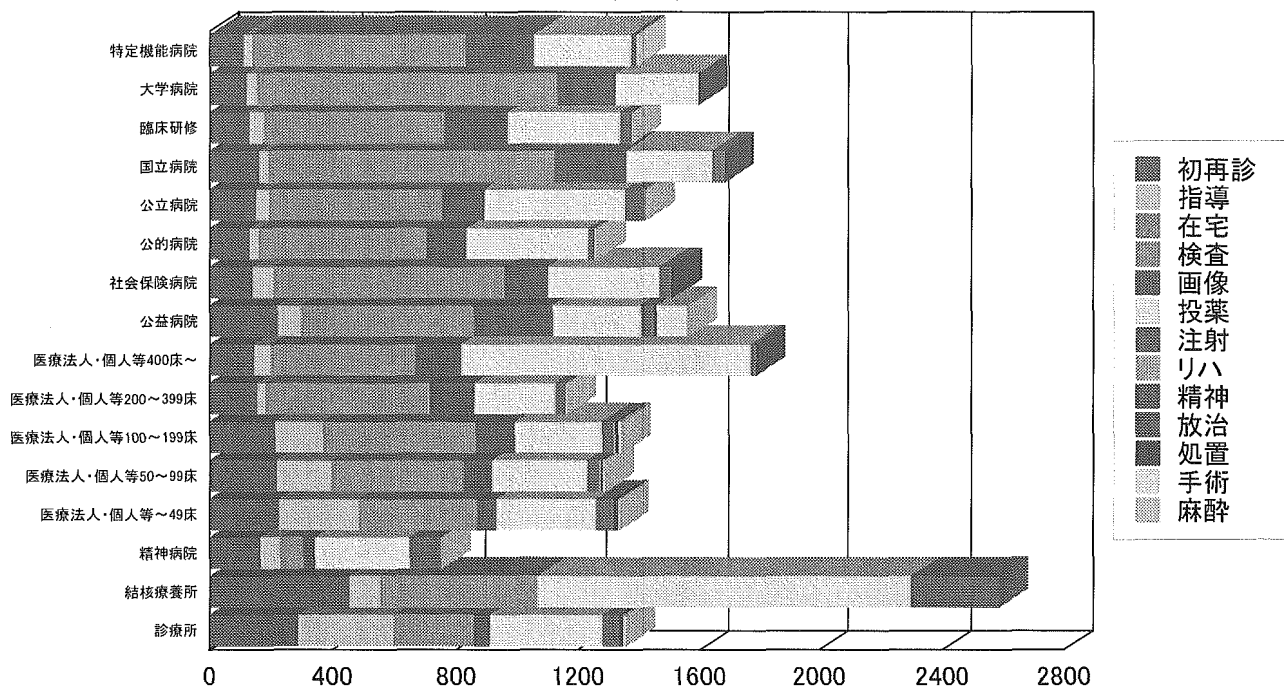
W点/W件



# 医療機関分類別診療区分別点数

## X I 消化器系の疾患

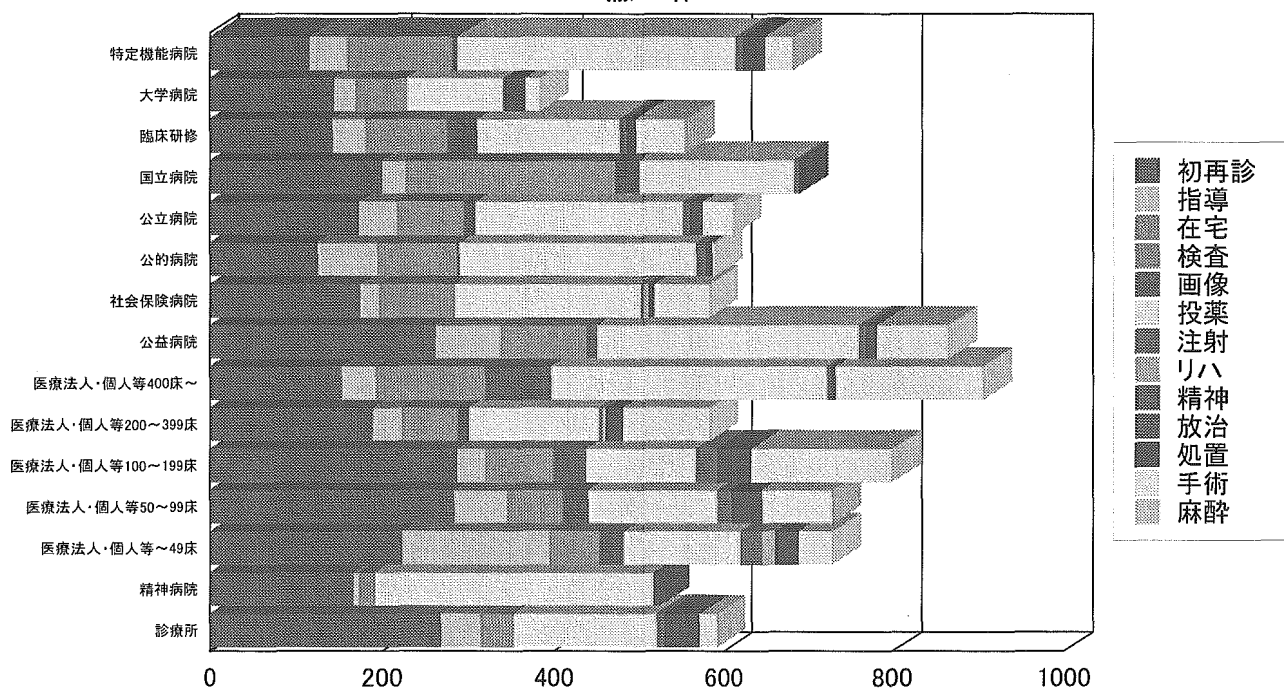
W点/W件



# 医療機関分類別診療区分別点数

## X II 皮膚及び皮下組織の疾患

W点/W件



## 5-2. 医療機関機能分類別傷病分類別点数

### ○チャート様式

形式:	メーターチャート+表
グループ:	医療機関機能分類
系列:	傷病大分類
ページ:	診療報酬診療大区分 x (1日当たり点数、1件当たり点数)

### ○視点

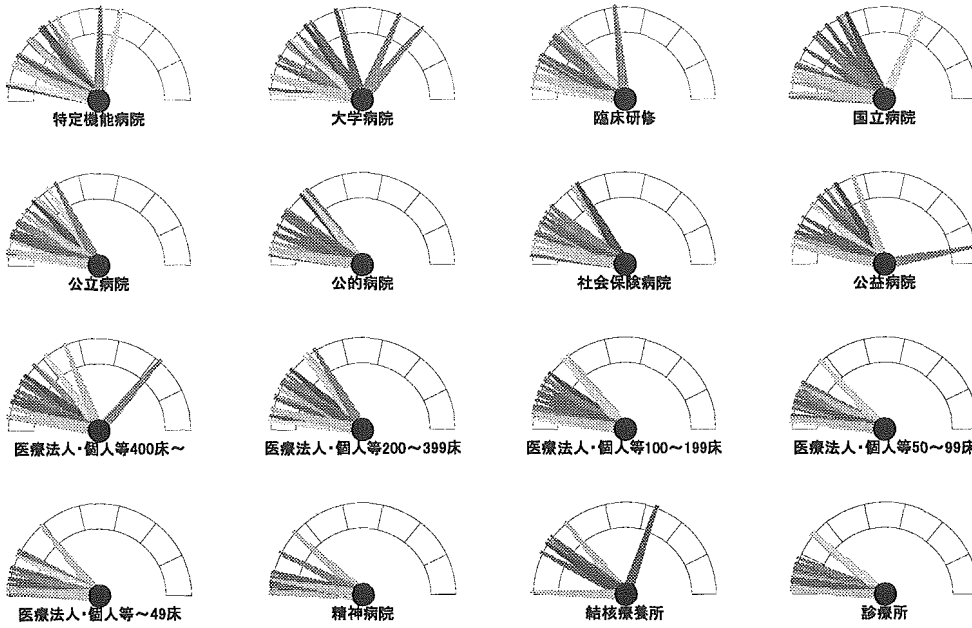
医療機関の機能分類の違いによって外来診療の内容がどのように異なっているかを、傷病分類別の医療資源の消費状況から分析するためのチャート。特に、診療区分別点数を、1日当たりまたは1件当たりの診療報酬点数の傷病による違いのバラツキ状況を比較することで、医療機関の外来機能の特徴を探り出すことができる。

### ○分析結果の要点

- ・初再診料は疾病別の違いはあまり無い。
- ・指導料は民間病院、診療所で疾患により大きく異なる。
- ・在宅はほとんど差を認めない。
- ・検査は特に大病院で疾患による差異が大きい。
- ・画像は特に大病院で疾患による差異が大きい。
- ・投薬は全般に疾病間の差異が大きい。
- ・注射は一部を除いて疾病間の差異が小さい。
- ・リハビリテーションは、大病院等で疾病による差異が大きい。
- ・精神は、精神疾患以外ではほとんど差異が無い。
- ・放射線治療は新生物以外ではほとんど実施されていない。
- ・処置は全般に泌尿器科以外ではバラツキが小さい。
- ・手術は特に大病院で疾病による実施量に差異が大きい。
- ・麻酔は、教育関連病院等で疾病による差異が大きい。

# 医療機関分類別傷病分類別点数

検査  
W点/W件



- I 感染症
- II 新生物
- III 血液及び造血系の疾患
- IV 内分泌、代謝疾患
- v 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳突突起の疾患
- ix 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚の疾患
- X III 筋骨格系の疾患
- X IV 泌尿器系の疾患
- X v 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状、徴候
- X ix 損傷、中毒

検査 W点/W件

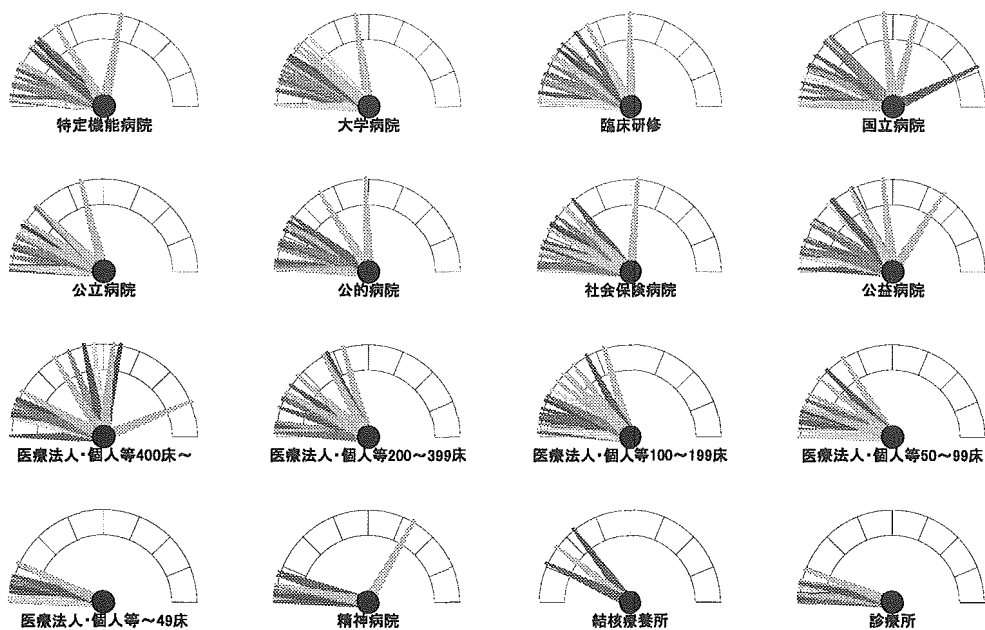
	特定機能病院	大学病院	臨床研修	国立病院	公立病院	公的病院	社会保険病院	公益病院	医療法人・個人等400床~	医療法人・個人等200~399床	医療法人・個人等100~199床	医療法人・個人等50~99床	医療法人・個人等~49床	精神病院	結核療養所	診療所
I 感染症	782	1145	670	814	424	391	589	709	300	627	431	280	419	79	1714	128
II 新生物	981	827	802	990	731	842	874	897	703	848	816	741	772	664	787	606
III 血液及び造血系の疾患	896	1772	682	349	585	837	319	811	476	561	566	328	287	427		286
IV 内分泌、代謝疾患	657	710	581	704	451	565	522	626	694	483	512	377	407	206	554	256
v 精神及び行動の障害	144	104	118	317	113	95	83	308	129	134	186	203	173	172		73
VI 神経系の疾患	362	223	252	291	240	163	162	247	231	184	173	242	169	103		67
VII 眼及び付属器の疾患	469	436	389	703	279	313	376	321	279	316	337	323	271	129		304
VIII 耳及び乳突突起の疾患	466	561	320	167	295	222	423	264	554	339	212	224	16			174
ix 循環器系の疾患	623	596	643	506	353	485	468	728	505	407	285	257	163	229	414	115
X 呼吸器系の疾患	444	353	385	647	287	297	288	379	402	305	229	137	174	31	596	57
X I 消化器系の疾患	816	816	762	1037	680	757	930	922	564	622	573	465	398	42	512	228
X II 皮膚の疾患	175	68	123	244	97	113	118	196	135	87	97	68	57	18		35
X III 筋骨格系の疾患	391	223	238	217	141	142	237	181	150	183	166	106	79	33	19	54
X IV 泌尿器系の疾患	616	430	593	651	408	502	604	622	393	512	492	456	457	99		355
X v 妊娠、分娩及び産じょく	1625	624	768	1776	869	798	382	613	845	806	761	726	398			639
X VI 周産期に発生した病態	1417	2014	1301	18	959	553	528	2629	2051	923	195	347	227			217
X VII 先天奇形	633	240	427	58	523	165	374	1098	1057	405	135	422		16		183
X VIII 症状、徴候	447	881	444	948	314	535	407	468	346	463	366	260	116	127		153
X ix 損傷、中毒	338	207	204	266	153	152	167	176	221	207	159	110	67	151		38



# 医療機関分類別傷病分類別点数

画像

W点/W件



- I 感染症
- II 新生物
- III 血液及び造血器の疾患
- IV 内分泌、代謝疾患
- v 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳突突起の疾患
- ix 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚の疾患
- X III 筋骨格系の疾患
- X IV 泌尿器系の疾患
- X V 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状、徴候
- X ix 損傷、中毒

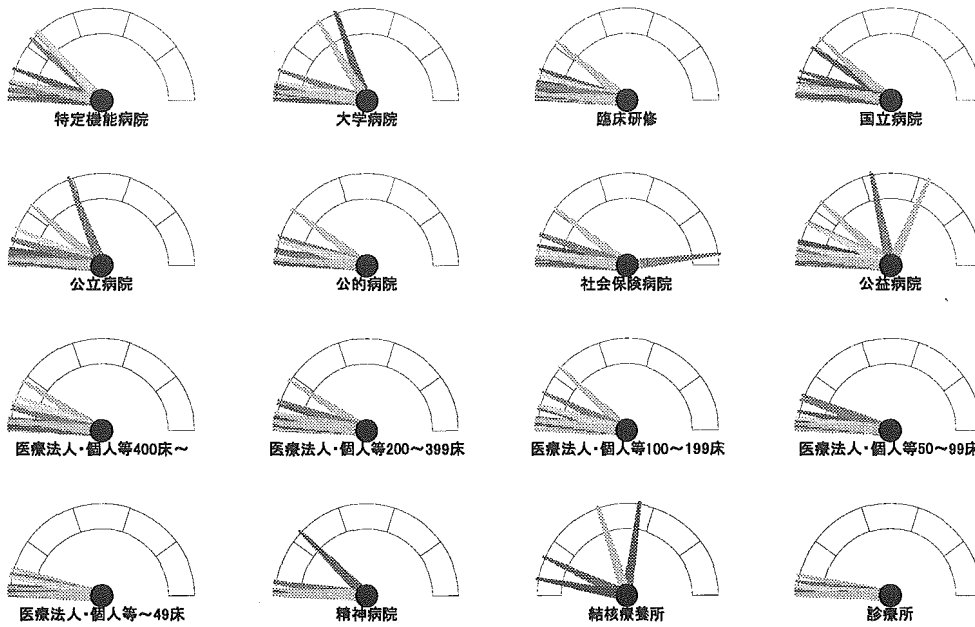
画像

W点/W件

	特定機能病院	大学病院	臨床研修	国立病院	公立病院	公的病院	社会保険病院	公益病院	医療法人・個人等400床~	医療法人・個人等200~399床	医療法人・個人等100~199床	医療法人・個人等50~99床	医療法人・個人等~49床	精神病院	結核療養所	診療所
I 感染症	204	268	130	134	124	145	280	301	114	216	158	92	78	2	457	10
II 新生物	895	724	791	930	675	782	843	1092	1401	660	651	513	215	1063	323	96
III 血液及び造血器の疾患	127	196	134	98	85	251	51	182	215	209	109	114	221	55		15
IV 内分泌、代謝疾患	109	93	80	243	78	63	89	124	199	78	107	85	93	64		18
v 精神及び行動の障害	62	7	75	231	37	50	24	102	211	59	96	86	77	32		16
VI 神経系の疾患	228	442	288	171	239	242	105	410	749	253	272	175	153	18		83
VII 眼及び付属器の疾患	28	82	25	53	7	16	18	18	5	42	24	44	2	0		0
VIII 耳及び乳突突起の疾患	241	129	147	219	150	124	92	119	605	82	72	130	104			4
ix 循環器系の疾患	414	287	468	429	205	233	131	447	694	297	231	158	143	146		33
X 呼吸器系の疾患	207	149	186	298	127	158	170	176	131	161	130	78	55	32	220	12
X I 消化器系の疾患	388	292	334	402	263	285	268	563	207	246	204	144	88	40		53
X II 皮膚の疾患	39		45	28	21	13	7	81	101	30	43	36	29			1
X III 筋骨格系の疾患	354	365	292	406	290	269	239	289	519	362	326	243	140	87		120
X IV 泌尿器系の疾患	165	174	240	385	190	175	321	270	178	219	232	210	118	89		35
X V 妊娠、分娩及び産じょく	133	4	26		26	13	8	83	255	37		3	5			3
X VI 周産期に発生した病態	124	227	179	433	146	33	33	135	151	21						1
X VII 先天奇形	244	244	277	6	207	16	149	747	260	245	379	160				45
X VIII 症状、徴候	337	266	373	1372	386	317	452	436	893	567	541	405	145	166		106
X ix 損傷、中毒	529	336	541	749	398	519	386	556	854	543	455	342	219	96		184

# 医療機関分類別傷病分類別点数

注射  
W点/W件



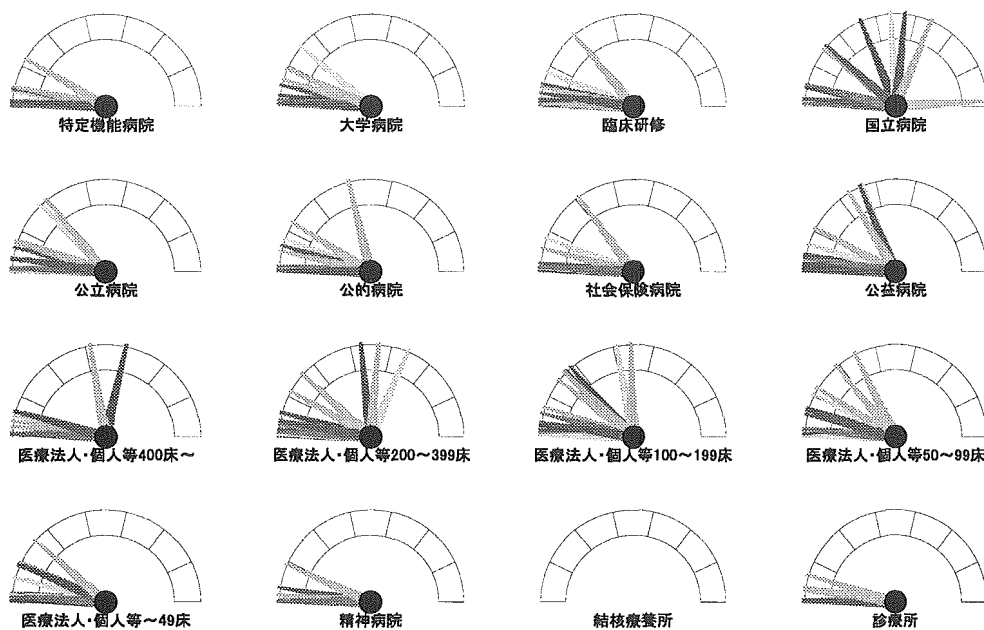
- I 感染症
- II 新生物
- III 血液及び造血器の疾患
- IV 内分泌、代謝疾患
- v 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳突突起の疾患
- ix 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚の疾患
- X III 筋骨格系の疾患
- X IV 尿路性器系の疾患
- X v 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状、徴候
- X ix 損傷、中毒

注射 W点/W件

傷病分類	特定機能病院	大学病院	臨床研修	国立病院	公立病院	公的病院	社会保険病院	公益病院	医療法人・個人等400床~	医療法人・個人等200~399床	医療法人・個人等100~199床	医療法人・個人等50~99床	精神病院	結核療養所	診療所	
I 感染症	554	1946	536	944	436	274	519	312	93	454	378	327	180	44	2732	55
II 新生物	1275	1612	1087	1144	1134	1022	1351	1182	892	910	1180	587	477	236	1985	356
III 血液及び造血器の疾患	1142	529	245	22	1935	511	4809	257	129	24	659	535	58	45		84
IV 内分泌、代謝疾患	65	141	33	94	96	74	24	144	104	54	92	61	92	29		39
v 精神及び行動の障害	24	4	85	19	27	37	11	146	50	96	64	59	18	37		16
VI 神経系の疾患	279	16	194	76	168	25	67	379	609	131	97	103	320	5		51
VII 眼及び付属器の疾患	35	22	18	173	16	32	37	17	4	16	34	11	23			3
VIII 耳及び乳突突起の疾患	21	109	45	61	54	69	4	38	80	106	21	64	32	17		11
ix 循環器系の疾患	165	179	267	300	240	239	103	387	477	218	218	142	160	240		43
X 呼吸器系の疾患	173	135	189	502	191	225	109	415	213	193	206	122	135	33	676	23
X I 消化器系の疾患	302	242	330	386	294	234	344	426	85	229	202	148	131	74	280	57
X II 皮膚の疾患	52	5	54	22	19	34	30	322	8	36	49	19	36			9
X III 筋骨格系の疾患	91	44	100	175	143	230	121	169	171	163	200	211	140	24		138
X IV 尿路性器系の疾患	327	258	285	119	173	231	546	778	441	521	428	611	387	217		242
X v 妊娠、分娩及び産じょく	1318	325	442	188	647	428	251	750	474	307	418	210	335			156
X VI 周産期に発生した病態	202	152	296		469	110	105	2170	374	110		26	3			9
X VII 先天奇形	334	37	100		120	49	55	3168	139	276	8	18				6
X VIII 症状、徴候	55	16	76	68	36	38	31	57	33	73	110	75	60	1207		33
X ix 損傷、中毒	325	169	110	275	105	110	149	129	180	122	159	111	28	118		24

# 医療機関分類別傷病分類別点数

リハ  
W点/W件



- I 感染症
- II 新生物
- III 血液及び造血器の疾患
- IV 内分泌、代謝疾患
- v 精神及び行動の障害
- VI 神経系の疾患
- VII 眼及び付属器の疾患
- VIII 耳及び乳突突起の疾患
- ix 循環器系の疾患
- X 呼吸器系の疾患
- X I 消化器系の疾患
- X II 皮膚の疾患
- X III 筋骨格系の疾患
- X IV 泌尿器系の疾患
- X v 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI 周産期に発生した病態
- X VII 先天奇形
- X VIII 症状、徴候
- X ix 損傷、中毒

リハ W点/W件

	特定機能病院	大学病院	臨床研修	国立病院	公立病院	公的病院	社会保険病院	公益病院	医療法人・個人等400床~	医療法人・個人等200~399床	医療法人・個人等100~199床	医療法人・個人等50~99床	医療法人・個人等~49床	精神病院	診療所
I 感染症	11		9	45	4	3		38		18	18	21	4		1
II 新生物	13	9	4	15	10	13	1	26	25	55	72	60	16	1	3
III 血液及び造血器の疾患	41		2		30					5	35	7			1
IV 内分泌、代謝疾患	3	3	5	6	7	13	3	16	9	28	30	20	23	1	4
v 精神及び行動の障害	10	26	17	262	34	7	3	20	64	59	188	69	21	4	2
VI 神経系の疾患	35	155	84	338	177	80	82	266	52	441	309	105	60	5	26
VII 眼及び付属器の疾患	2		4		0	1		1		1	11				0
VIII 耳及び乳突突起の疾患	2	4				7					6	19			
ix 循環器系の疾患	44	51	54	373	60	63	20	260	398	326	174	64	90	34	6
X 呼吸器系の疾患	6	8	9	18	5	4	12	42	64	13	28	2	16	0	0
X I 消化器系の疾患	6		2		3	2	3	9	7	14	27	6	3	3	2
X II 皮膚の疾患	3		0		2		7	66		5	4	1	19		0
X III 筋骨格系の疾患	48	64	46	146	71	49	56	109	39	114	146	122	99	17	66
X IV 泌尿器系の疾患	3	16	6	53	9	4	10	33	10	39	56	16	12	3	0
X v 妊娠、分娩及び産じょく															
X VI 周産期に発生した病態	6		3			7				11					
X VII 先天奇形	15		7	439	77	123				165	169	247			29
X VIII 症状、徴候	13	8	32	157	30	0		3	61	35	34	54	94		3
X ix 損傷、中毒	119	92	197	688	196	295	209	228	312	368	343	192	160	92	36

### 5-3. 傷病分類別診療区分別点数

#### ○チャート様式

形式:	横棒積み上げグラフ
グループ:	傷病大分類
系列:	診療報酬診療大区分
ページ:	医療機関機能分類 x (1日当たり点数、1件当たり点数)

#### ○視点

傷病の違いによって外来診療の内容がどのように異なっているかを、診療区分別の医療資源の消費状況から分析するためのチャート。特に、1日当たりまたは1件当たりの診療区分別点数を傷病分類別に絶対値を含めて比較することで、医療機関の外来機能の差異に夜外来診療の違いを分析することができる。

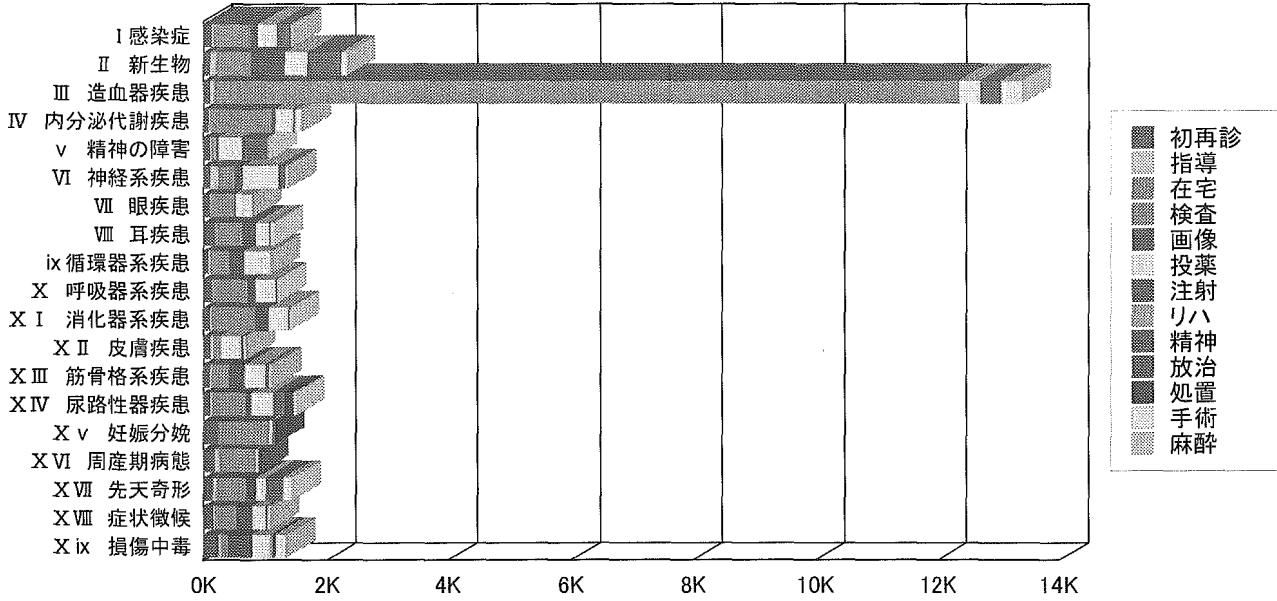
#### ○分析結果の要点

- ・特定機能病院では血液疾患の在宅点数が非常に高い。
- ・大学病院では新生物、造血器、内分泌代謝疾患、泌尿器疾患の1日当たり点数が1400点前後、1件当たり点数が2400点前後と高い。
- ・臨床研修病院では新生物、内分泌代謝、泌尿器、先天奇形の1日当たり点数が1200点前後、1件当たり点数が2400点前後と高い。
- ・国立病院では新生物、眼、呼吸器、妊娠、症状徴候の1日当たり点数が1200点前後と高く、妊娠関連の1件当たり点数が4500点前後と非常に高い。
- ・公立病院では血液疾患、泌尿器等の1日当たり点数が1200点から2300点と高い。
- ・公的病院では新生物、造血器、内分泌代謝、泌尿器の1日当たり点数が1200点前後と高い。
- ・社会保険病院では造血器、泌尿器の1日当たり点数が2500点から4000点と高い。
- ・公益病院では新生物、泌尿器、周産期の1日当たり点数が1600点から2000点と高い。
- ・民間大病院では新生物、内分泌代謝、神経、泌尿器の1日当たり点数が1600点前後と高い。
- ・民間中小病院では泌尿器の1日当たり点数が2000点前後と高い。
- ・診療所では泌尿器の1日当たり点数が1400点前後と高い。

## 傷病分類別診療区別別点数

1件当たり点数(W点/W件)

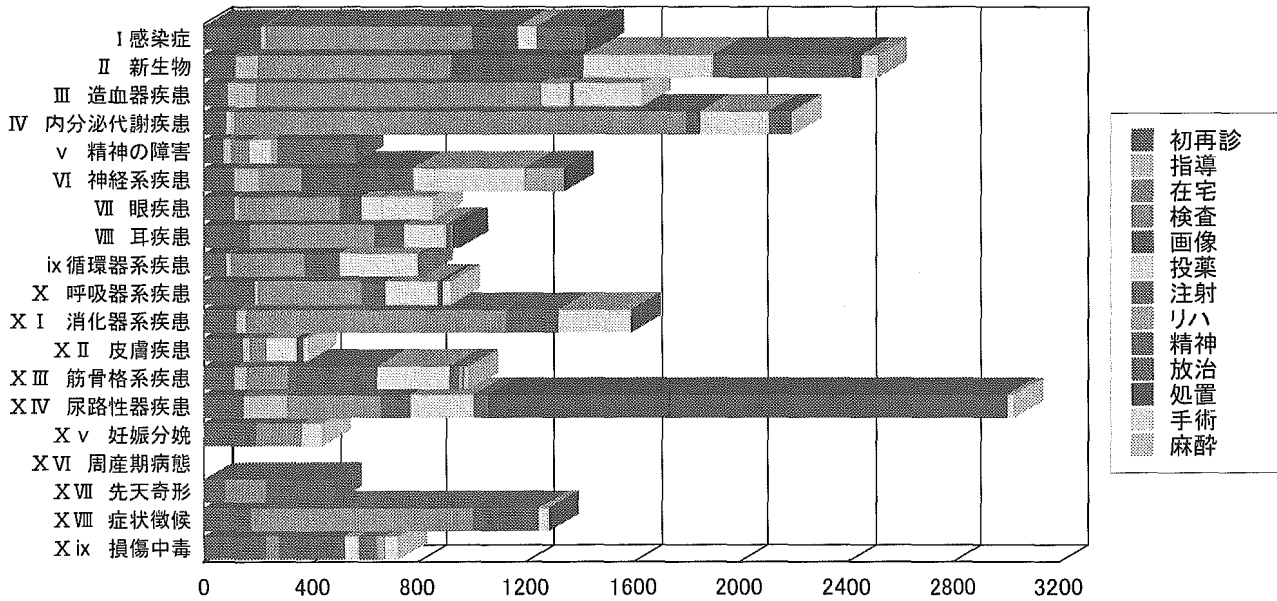
特定機能病院



## 傷病分類別診療区別別点数

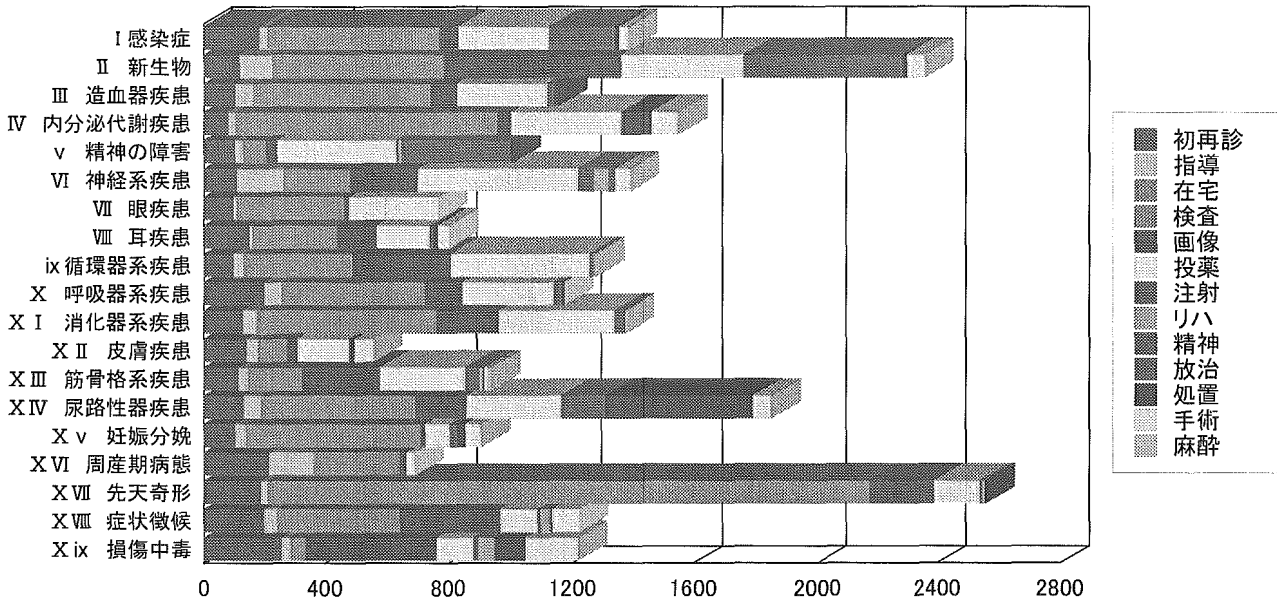
W点/W件

大学病院



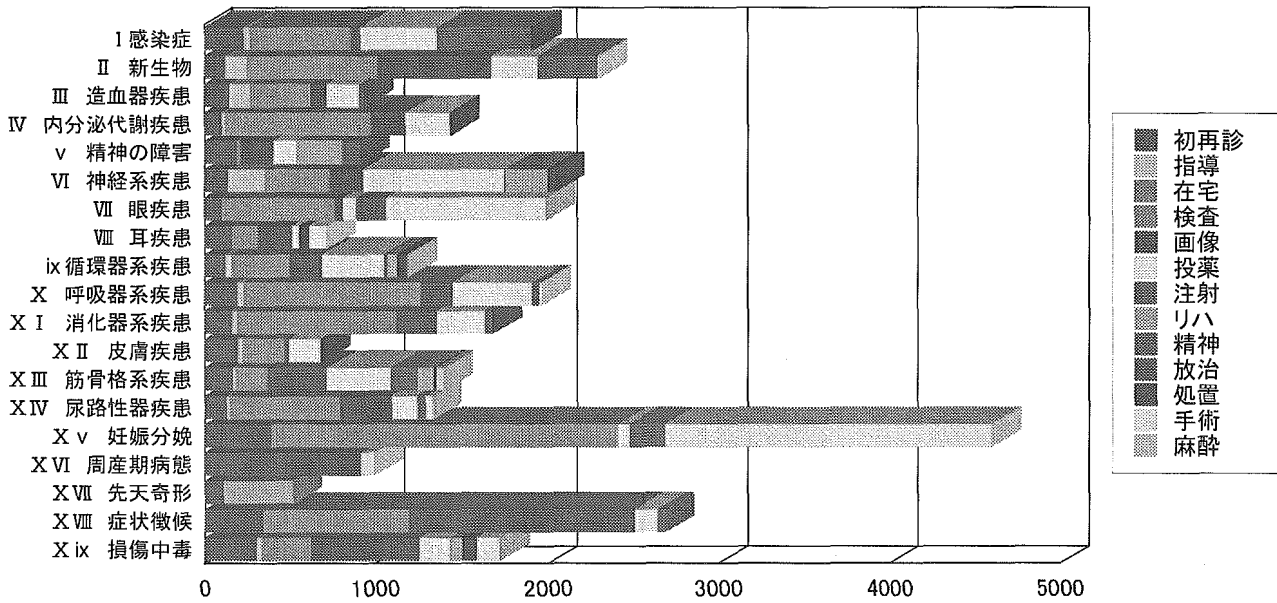
### 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件  
臨床研修



### 傷病分類別診療区別別点数

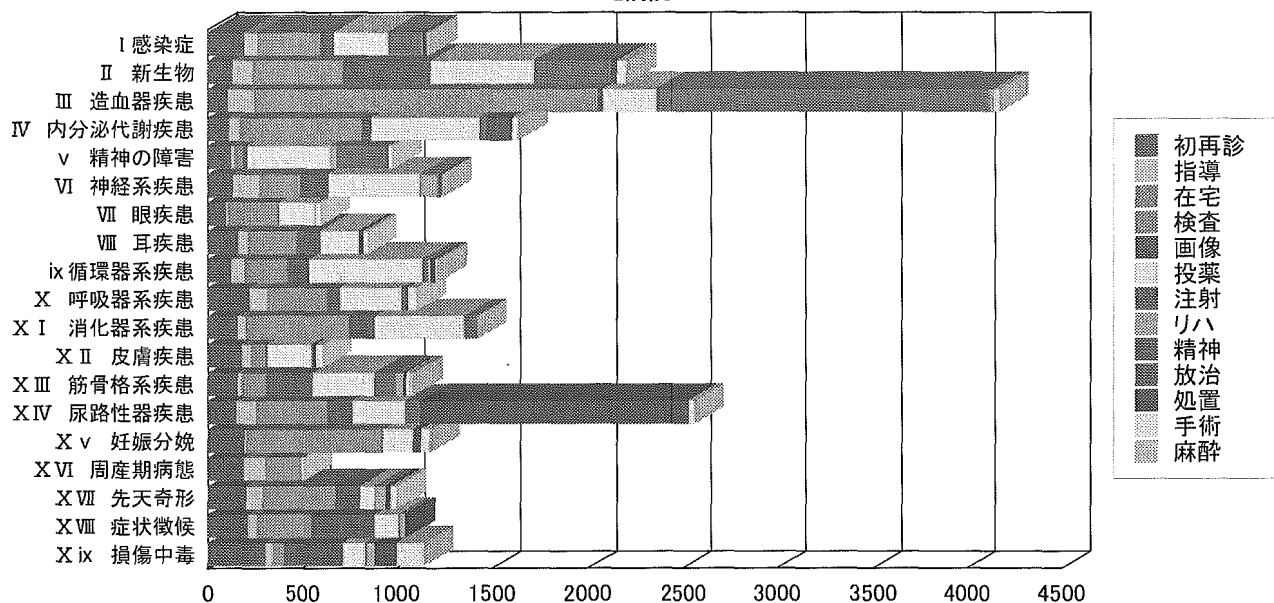
W点/W件  
国立病院



### 傷病分類別診療区分別点数

W点/W件

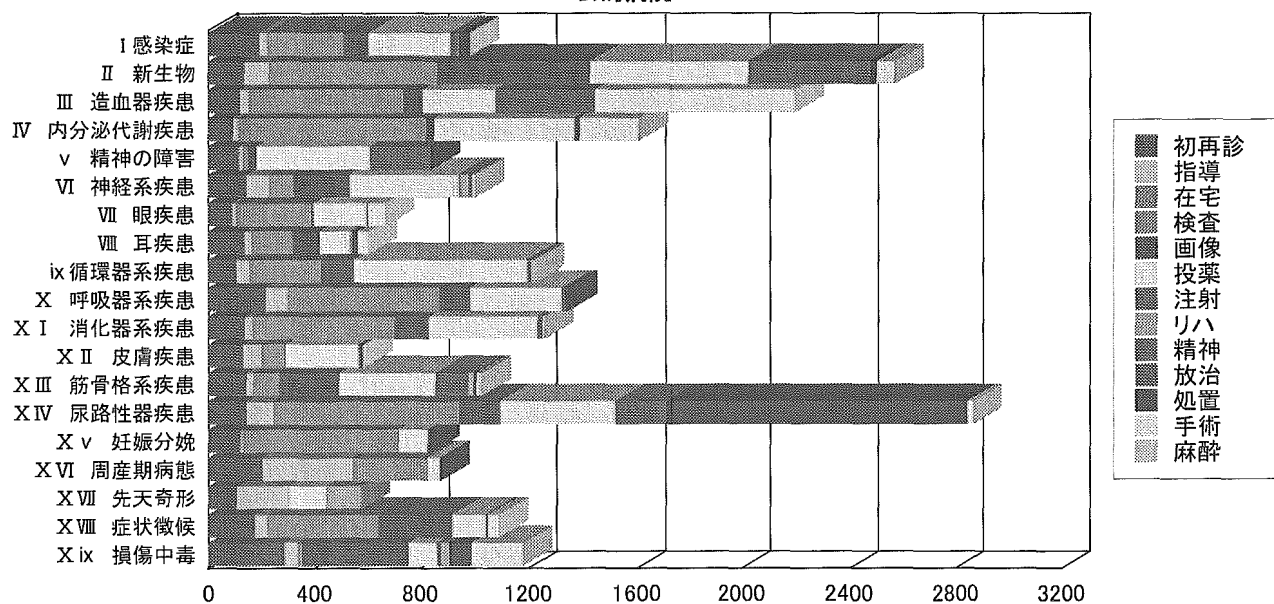
公立病院



### 傷病分類別診療区分別点数

W点/W件

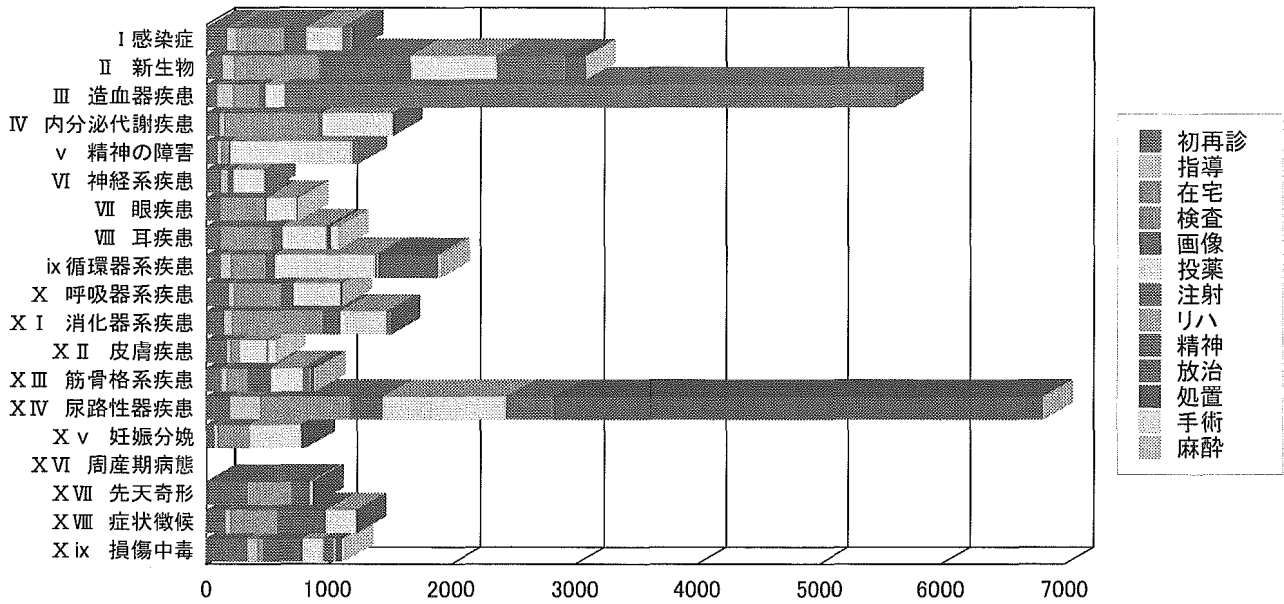
公的病院



## 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件

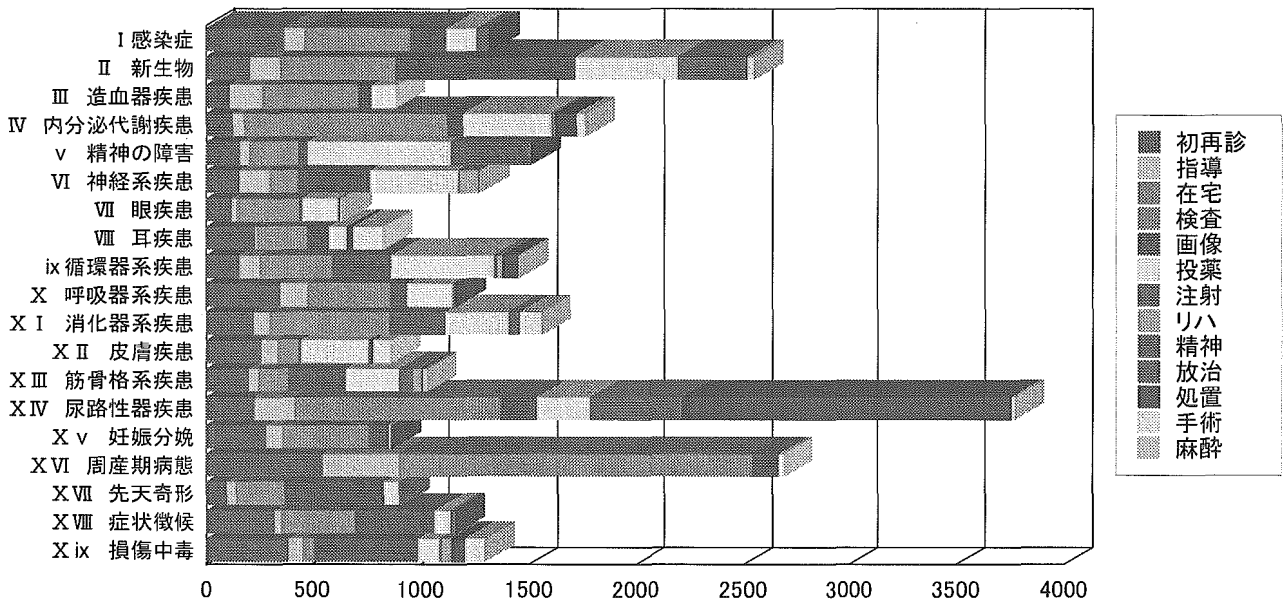
社会保険病院



## 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件

公益病院

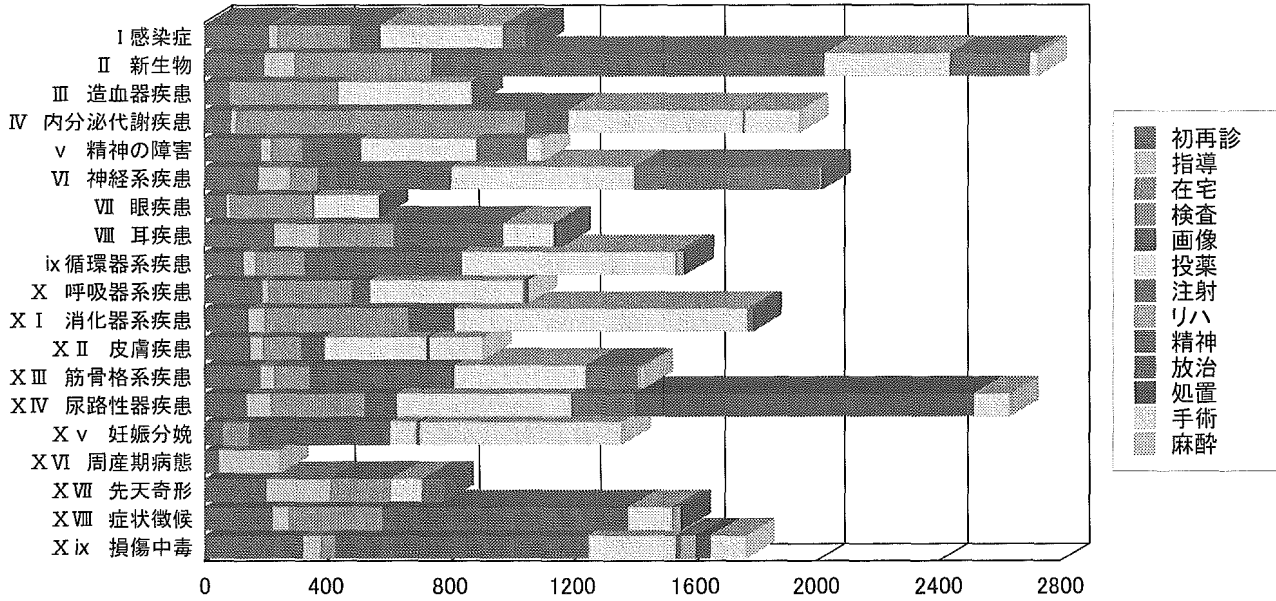




## 傷病分類別診療区分別点数

W点/W件

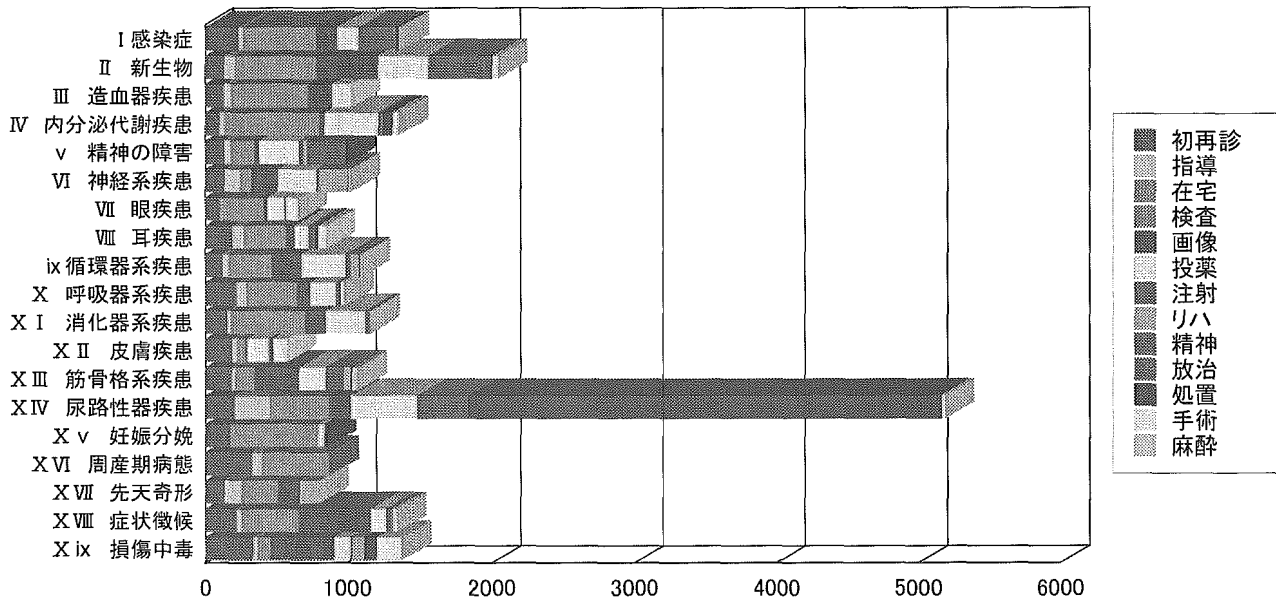
医療法人・個人等400床～



## 傷病分類別診療区分別点数

W点/W件

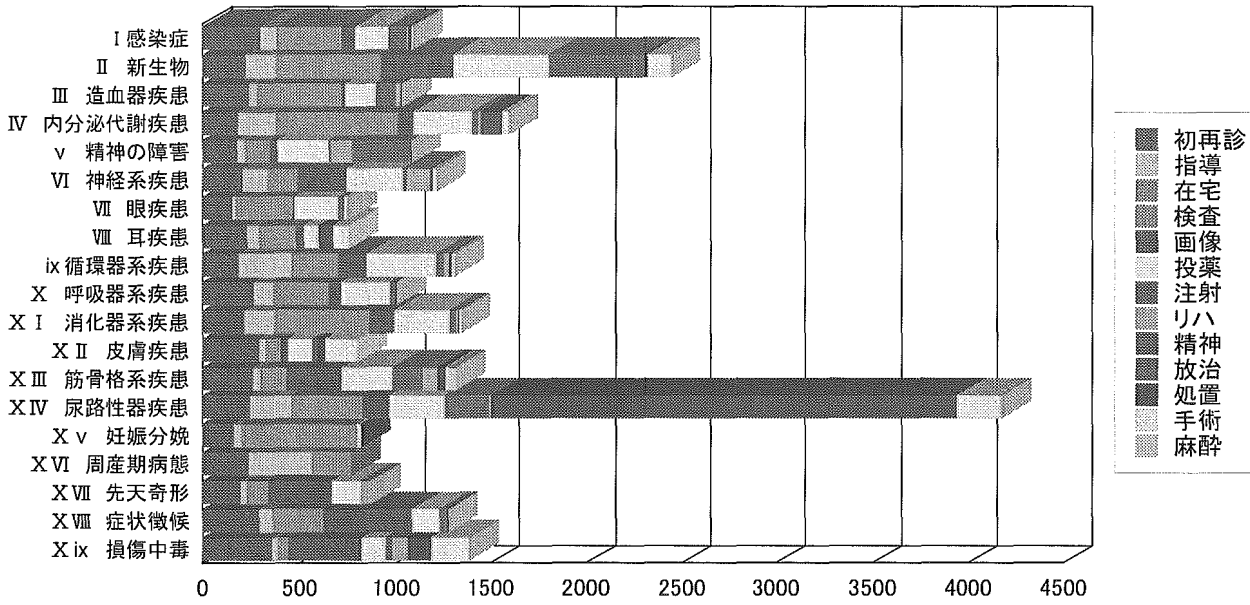
医療法人・個人等200～399床



### 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件

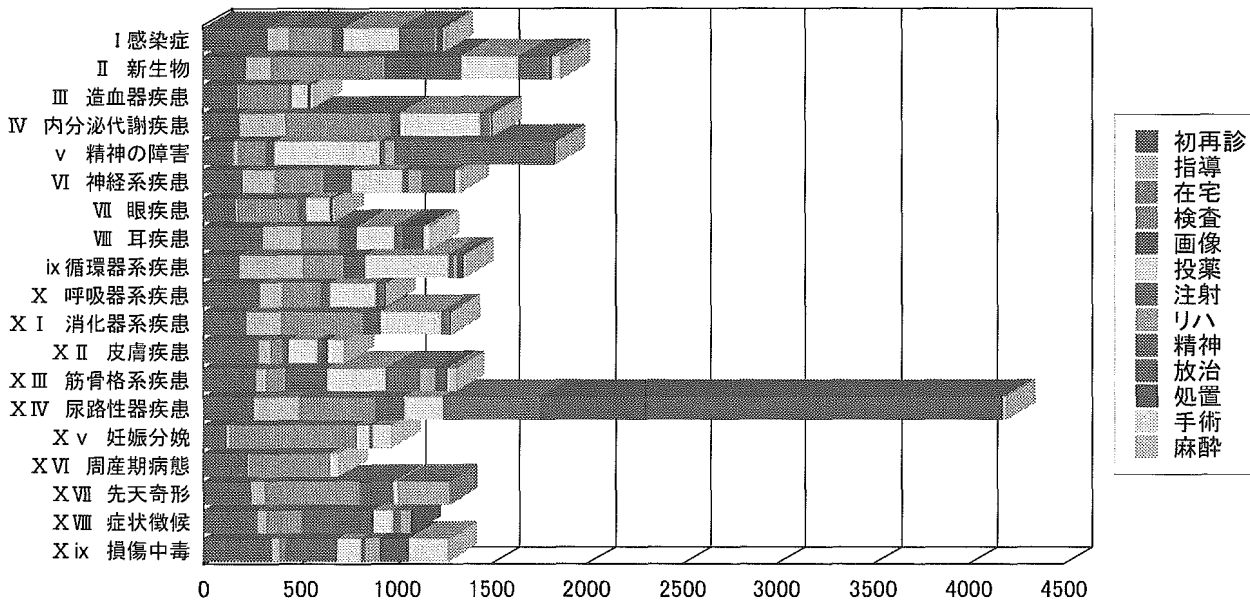
医療法人・個人等100~199床



### 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件

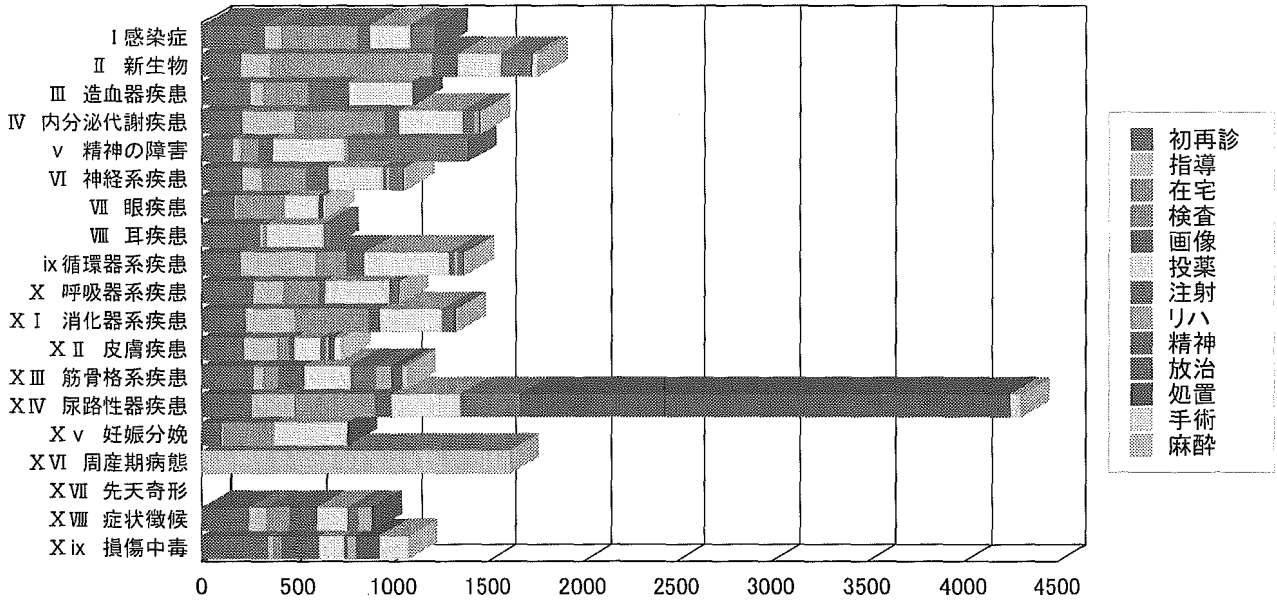
医療法人・個人等50~99床



## 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件

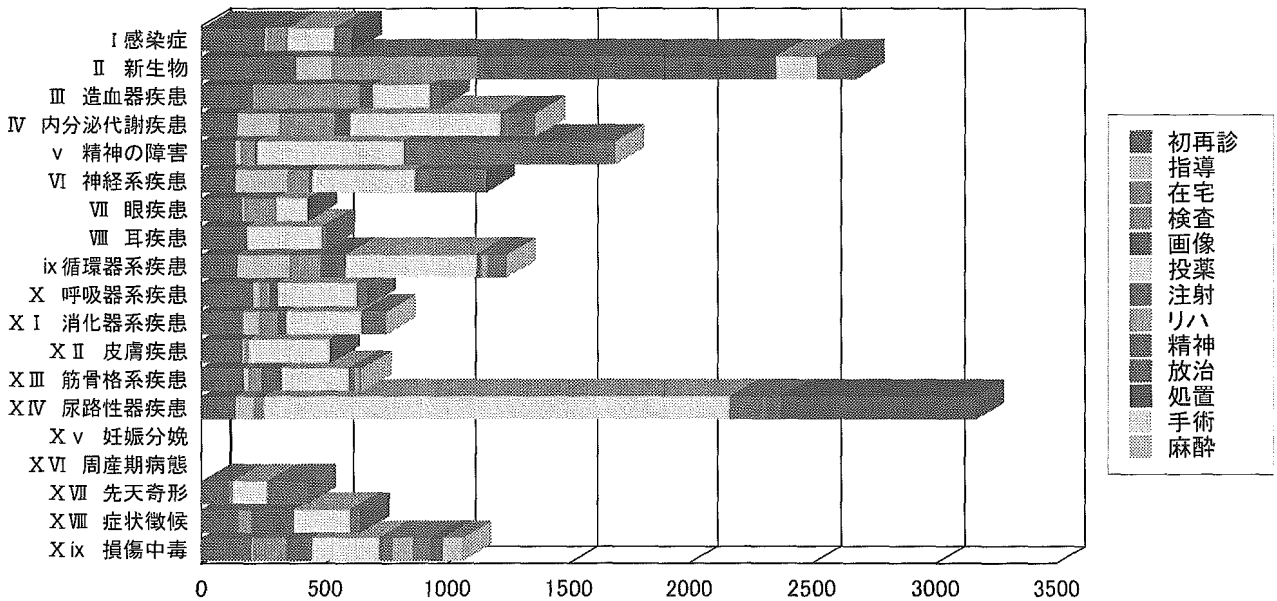
医療法人・個人等～49床



## 傷病分類別診療区別別点数

W点/W件

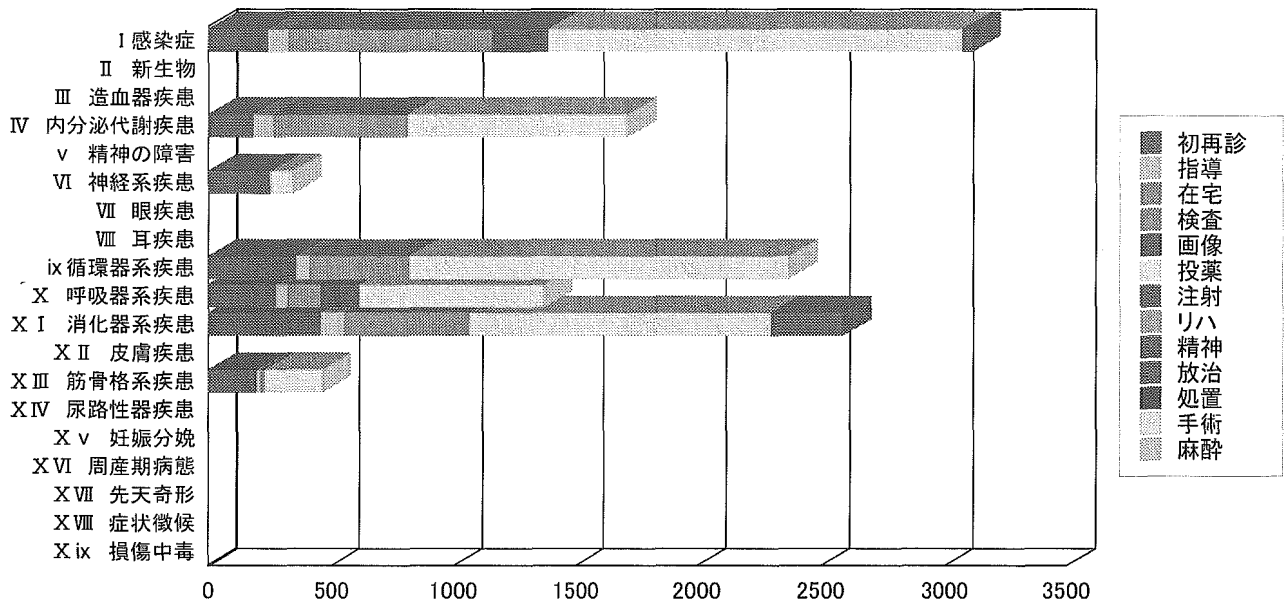
精神病院



## 傷病分類別診療区分別点数

W点/W件

結核療養所



## 傷病分類別診療区分別点数

W点/W件

診療所

